

＜創立50周年記念式典 校長のことば＞

皆さんこんにちは。校長広瀬でございます。本日はご多用の中、伊志田高校の創立50周年記念式典にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

ご来賓の方々のご臨席を賜り、皆様と共に記念式典が開催できることを本当にうれしく思います。今まで関わっていただいたすべての方々に心より感謝申しあげます。ありがとうございました。

伊志田高校に関わるすべての方々に敬意をもって「伊志田ファミリー」と呼ばせていただいております。本日は皆さんも「伊志田ファミリー」の一員として、楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。

初代實方校長は、「高い志を持ち、たくましく生きる力」を育むために人間教育に力を入れてきました。それは、まさに先が見えない時代の今、社会で求められている力です。まるで、50年先を見通していたかのような教育目標を掲げ、社会で活躍する多くの卒業生を輩出してきました。その伝統は今も継承されています。

昨年の文化祭では、台風で中止を余儀なくされたときに自分たちで実施できる手立てを探し、1日遅れで実施することができました。今年は、ペイペイの導入や前夜祭、パネル掲示など新しい企画にチャレンジしてくれました。新しい変化に柔軟に対応し、受け入れることは、すばらしいことだと思います。

また、朗報ですが、華道部が全国大会で優勝をしました。頂点に立つことは素晴らしいことです。これまでの努力の成果ですね。おめでとうございます。

本日の最後に卒業生の坂井泉水さんの曲の合唱があります。メッセージ性の高い曲が多く、全国、いや世界のたくさんの人の背中を押し、勇気を与えてくれたと思います。皆さんもその一人ではないですか。偉大な先輩を持ち誇りに思います。

「マイ・フレンド」や「揺れる思い」の歌詞には、高校時代の経験や想い、育まれた感性・感覚がちりばめられていると感じます。テニス部に所属し真っ黒に日焼けをしている普通の高校生だったと聞いております。きっと、いい青春時代を過ごしたこと思います。皆さんと同じですね。伊志田高校は、今も昔も変わらず、素晴らしい学校だと思います。

また、地域の中で愛され、共に発展してまいりました。地域教育力は財産だと思います。

現在の校舎に移った際に、伊勢原市・厚木市・宿愛甲・石田の4つの商工会議所から、横断幕を寄贈していただき、駅前に掲げられました。「新校舎落成・祝・伊志田高

校」と書かれ熱烈歓迎を受けたと聞いております。県立高校では珍しいことだと思います。

本校は、国際理解教育にも力を入れてきました。その始まりは、地理の先生が知人の外国人を授業に招き特別授業を行ったことがきっかけでした。地域の様々な方々の力があったから、今の伊志田高校があるのだと思います。

7月の参議院選挙で、県立高校では初めて期日前投票の会場となりました。「近くで本当に助かった」とよろこんでくれたご高齢の方が多く、50年間の恩返しが少しできたかもしれません。

これからも、よき伝統を継承し、自分たちで新しい歴史を築いていってください。そして、皆さんの中から、だれかが、50年後、100周年記念式典に参加して、今の思いを伝えていただけたら素敵なことだと思います。

結びとなりますが、コロナ禍で中止となっていた台湾修学旅行を令和8年度入学生から再開します。これからも、社会で必要とされる、思いやりのあるグローバルリーダーを育んでいけるよう、職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと考えております。

今まで以上のご支援、ご協力、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。伊志田高校のますますの発展と皆様方のご健勝祈念し、式辞とさせていただきます。



令和7年11月7日
神奈川県立伊志田高等学校長
広瀬 邦彦